

「たかしん 脱炭素化宣言」の制定について

高崎信用金庫（高崎市飯塚町 理事長 片山政明）は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地域とともに脱炭素化への取組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献することを目的に、「たかしん 脱炭素化宣言」を制定いたしましたので、お知らせいたします。

当金庫は、地域の脱炭素化、SDGsの達成に向けた取組みを支援し、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記

○たかしん 脱炭素化宣言

1. 目的 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地域とともに脱炭素化への取組みを推進することを目的として、「たかしん 脱炭素化宣言」を制定いたしました。
2. 内容 (1) 当金庫の脱炭素化への取組み
(2) 地域における脱炭素化への取組支援
各項目の具体的な取組内容については、[当金庫ホームページ](#)をご覧ください。
3. 制定日 令和5年11月1日
4. 別添 「たかしん 脱炭素化宣言」

以 上



たかしん 脱炭素化宣言

高崎信用金庫は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地域とともに脱炭素化への取組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献します

1. 当金庫の脱炭素化への取組み

- 2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目指します
- 環境に配慮した設備を整備し、再エネ・省エネを推進します



電気自動車の配備



屋上緑化



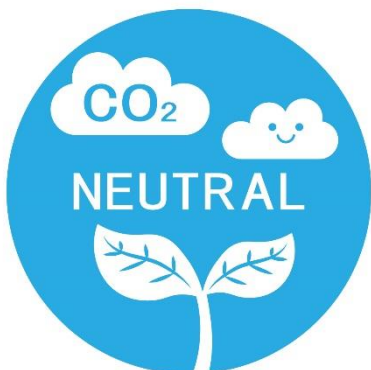
照明のLED化

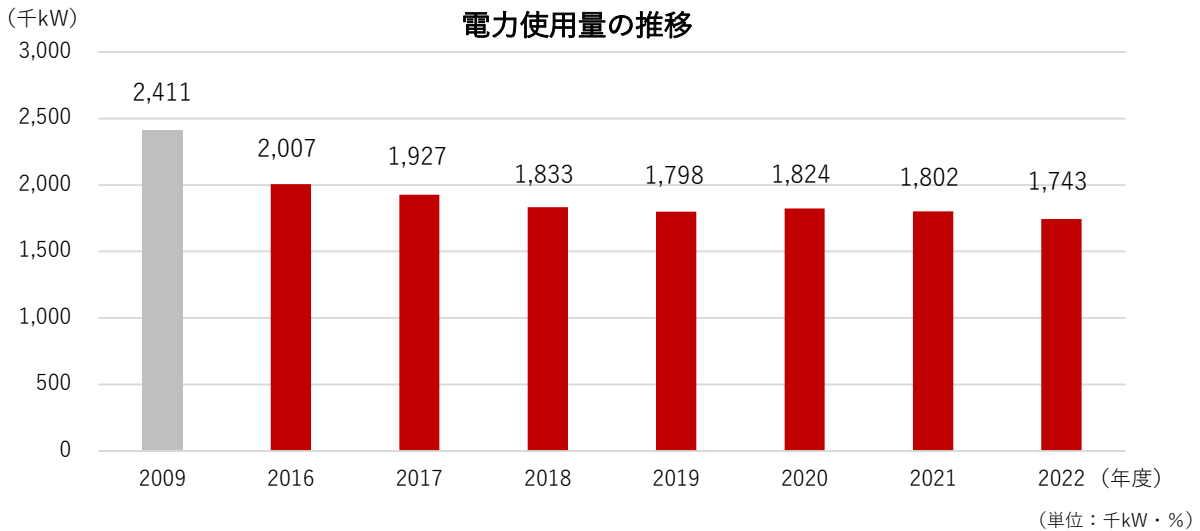
2. 地域における脱炭素化への取組支援

- 商品やサービス等を通じて、お客さまや地域社会の脱炭素化、およびSDGsの達成に向けた取組みを支援します

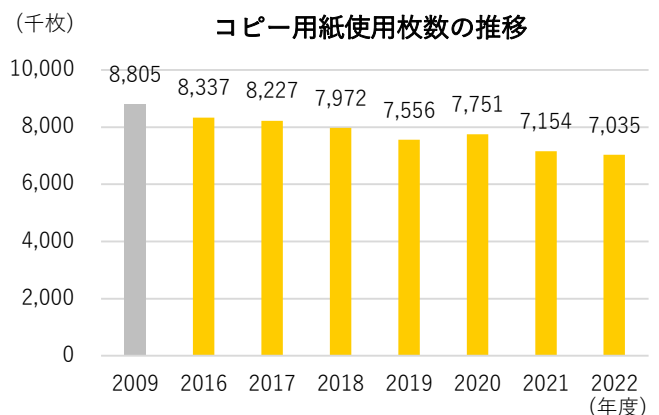
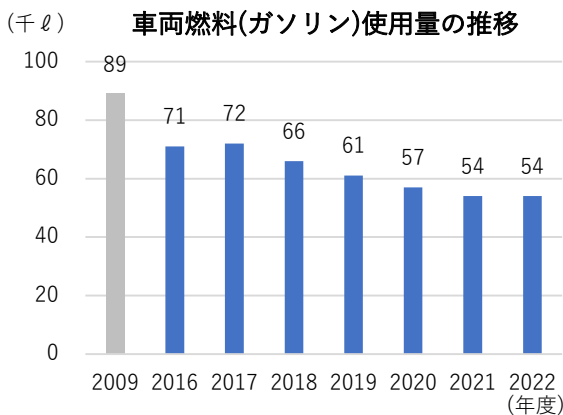


新電力会社への出資



【参考】
高崎信用金庫の電力使用量、車両燃料(ガソリン)使用量、コピー用紙使用枚数の推移


項目	2009 (平成21年)	2016 (平成28年)	2017 (平成29年)	2018 (平成30年)	2019 (令和元年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)
電力使用量の推移	2,411	2,007	1,927	1,833	1,798	1,824	1,802	1,743
2009年度比 (%)	-	▲ 16.75	▲ 20.07	▲ 23.97	▲ 25.42	▲ 24.34	▲ 25.25	▲ 27.70



<信用金庫業界の環境自主行動計画にかかる数値目標>

「電力使用量の削減」を目標対象に、2009（平成21年度）を基準年度として、数値目標を設定

第一計画期間：2020年度実績を基準年度比10.5%減

第二計画期間：2030年度実績を基準年度比19.0%減

当金庫では、第一計画期間の電力使用量の実績は、基準年度比24.34%減となり、目標値を大きくクリアしました。